

73. 喜寿の会でお祝いを言う

001A : ナント Bサン オメデトゴザリスー。 (B ハイ) ナント キジュナンテ
なんと Bさん おめでとうございます。 (B はい) なんと 喜寿なんて

スバラシーゴトネー。
すばらしいことね。

002B : ンダカラネー、 (A エー) オラモ コノトシマデ コーナット
そうなんだよ、 (A うん) 私も この歳まで こうなると

オモワネガッタノッサ。
思わなかったのさ。

003A : アイー オヨバレイタダイデ アリガトゴザイマスー。
はい お呼ばれいただいて ありがとうございます。

004B : イーエ (A ハイ) ホントニネー ミナサンガラ ツネシゴロ
いいえ (A はい) 本当にね みなさんから 常日頃

セワー ナッテッサ、マズ コレマデ キタガラ ウン モースコシ コンド
世話[に] なってさ、 まあ ここまで きたから うん もう少し 今度

ハチジューノサガ [1] ガンバッカラ。
八十の坂 がんばるから。

005A : ソーダネー ナガナガ ホントニネ コンナニ ケンコーデ ゲンキデ
そうだね なかなか 本当にね こんなに 健康で 元気で

イラレルツノ (B ン) アリガタイゴッダネー。
いられるというの[は] (B ン) ありがたいことだね。

006B : ンダデバ (A ハイ) ヤッパリネ ナンダッテ カゾグノネ
そうだってば (A はい) やっぱりね なんととっても 家族のね

ミンナノキョーリョグ、キンジョノキョーリョグ ネットツサ トテモトテモ
みんなの協力、 近所の協力 ないとさ とてもとても

イキデラレネバ [2]。
生きていられないってば。

007A : アー ナントネー ソーユーカンシャノキモチ モッテ イギレバ インダネ。
あー なんとね そういう感謝の気持ち 持って 生きれば いいんだね。

008B : ンー マズ ヤットネー ナンボガ ソーユーキモジ ナッタネ^二。
うん まあ やつとね いくらか そういう気持ち[に] なった^ね。

009A : アー イーゴッダネー。
あー いいことだね。

010B : コレカラモ タノミスト。
これからも 頼みますよ。

011A : ハイ ホントニ キョーワ オメデトゴザイマス。
はい 本当に 今日は おめでとうございます。

012B : ハイ ユックリシテクダサイ。
はい ゆっくりしてください。

013A : ハイ アリガトゴザイマス。
はい ありがとうございます。

[1] ハチジューノサガ

話者の指摘によると、五十歳以降であれば、このような表現を使用することができるという。

[2] イキデラレネバ

このように聞こえるが、話者から「イギデラレネデバ」というつもりで発音したと確認を得た。